

夏季教頭研修会実施報告

1 期 日:令和元年8月8日(木)13:30～

2 場 所:津市河芸中央公民館

3 内 容

会長挨拶、2名の講師さんによるお話、調査部長からお礼の言葉がありました。

13:30～

講師:三重県教育委員会 生徒指導課

課長補佐兼班長 秦 弘人 さん

演題:「生徒指導における今日的課題について」

いじめの認知、総務省からの勧告、重大事態の対応など前半にいじめ問題への対応を、後半には、児童虐待気づきリストの改訂や児童相談所との連携等児童虐待への対応をご自身の相談所勤務時代のことも踏まえて、お話をいただきました。非常に有意義で学校での実践につなぐことのできる研修となりました。

15:00～

講師:音楽工房「夢のかぼちゃ」

長島 りょうがん さん

(現在:県総合文化センター 生涯学習センター長)

演題:「そっとやさしく」

前半は、ピアノを交えての歌やお話、また後半は絵本を交えてのお話や朗読と本当に私たちの心にそっとそして深くしみいる時間でした。子ども一人ひとりを見つめることの大切さや、教頭として教員一人ひとりに寄り添うことの大切さを感じた本当に感動的な時間でした。

<アンケートからの抜粋>

前半の演題「生徒指導における今日的課題」の研修について

- 最終決定者(校長)を出す前に私たち教頭がリーダーシップをとることが重要であること等、学校運営を行っていく上でとても貴重で有意義な研修でした。ありがとうございました。
- 学ぶことがとても多かったです。特に虐待に関して教頭として、学校としてどのような事柄を念頭に行動し、対応すべきかがよく分かりました。また、「疑いで通報」の考え方がすっきりと落ちました。今後の子ども達の安全安心のために役立てたいと思いました。(1)
- いじめや児童虐待について、管理職としての対応を詳しく教えていただき大変勉強になりました。講師先生の北勢支援事務所(児相)を経験した上での話に引き込まれました。(1)

- 生徒指導の現状についてよく分かるお話でした。特に児童虐待については、とても具体的で親と対立するのではなく、共に子どもを育てる立場に立って話をすることの大切さが分かりました。「対峙する」ことは敵対ではないと言われたことが印象的でした。
- 何事も立場に立ってみて分かる事、経験された事を共有して下さり、ありがとうございました。要対協など学校では知り得なかった用語など経験してみても分かることですね。行政経験のある方から見た学校は、もっと学ばなければならないことが多いことを知らされます。
- 普段なかなか聞くことができない虐待についての内容でしたので、勉強になりました。法令関係も年々変わっていくので最新の情報が聞けたのがよかったです。(2)
- ネットワークの大切さや広い交遊関係を大切にしながらがんばろうと思いました。今日的な課題の取り組む方法を教えてください、ありがとうございました。(6)
- ネットワークの大切さを学びました。ふだんから、教委、児相、警察など連絡を取りあっておく必要があると感じました。(5)
- 福祉と教育の立場の違いについて整理して考えることができました。今でも「何故？」と思っていたことも、今日の話を通じ、納得することができました。違いを理解した上で、ネットワークを組んで、協働していきたいと思いました。
- なんとなく感じていたことや、なんとなく知っていたこと等、それを整理することができました。ネットワークの大切さを感じました。(3)
- 吉本でないですが、保身ではなく、まず子どもたち、「子どもファースト」で考え、動かなければならない。そのためのネットワーク、人のつながりがとても大きいことを実感しました。どうもありがとうございました。(3)
- いじめ、児童虐待はいつどの子に起こるかわからないもので、また分かりにくいものだからこそ、つねに全職員がアンテナを高くして子どもを見ていかなければならないと改めて感じました。いろいろな機関とネットワークをうまくつくりながら早期発見、早期対応ができるように管理職として頑張りたいと思いました。(1)
- 緊急的な課題をタイムリーにわかりやすく説明していただきました。特に虐待への対応については、校内で還元していきたいと思います。(1)
- 最新の情報や実体験を話していただき、とても勉強になりました。また、ネットワークの大切さも本当にその通りだと痛感しました。日頃の多くの業務をうまく整理しつつ、大切な業務1つとしてうまくネットワークを作っていきたいと思います。
- 何かあった時に、素早く適切な対応ができるようにするにはいろいろなパターンを知っておかなければいけないと思いました。また、どんな場合でも人のつながり(コネク)は広げておくことが大事だと感じました。
- 児童相談所勤務を通じた体験的なお話をきかせていただき学びになりました。警察、障がい福祉課、保護課、裁判所調査官など外部のネットワークづくりをすることで、子どものよりよい成長につなげることができるという点が心に残りました。
- 虐待のことについて本校では該当する児童はいませんが、いろいろな機関との連携を密にしてアンテナを高くして、子どもたちを見ていきたいと思います。
- 児相を経験された秦先生だからこそのお話だったと思います。関係機関との連携

の必要性について改めて感じました。(3)

- 児童虐待の対応について、詳しく話していただいたので、よく理解することができました。保護者との対応など、いざというときに役立てることができると思いました。児相の話を交えてもらえたことがよかったです。少し認識がかわりました。
- 現任校での虐待事案の対応を思い浮かべながら聞きました。迅速で思慮深い判断の元に対応された学校長、児相、教委、子ども、家庭、関係機関との連携、教職員への周知と指示、それら一連の対応の根拠を再度確認できました。
- 虐待に関する話は、児相勤務の経験から、わかりやすく詳細を教えていただきとても勉強になりました。「児童虐待気づきリスト」についてダウンロードを行い、きちんと読もうと思いました。浅傷の場合に写真を撮ることは知っていましたが、「定規を当てて撮る」と具体的に教えていただき、そのように対応しようと思いました。学校としての対応について様々な面から話していただき、今後に活かしていこうと思いました。(2)
- いじめ問題の対応や児童虐待への対応について、実例を基に分かりやすくお話をいただきありがとうございました。本校ことを思い浮かべ考えながら聞かせてもらいました。子どもの思いや成長に向けて取組をがんばりたいと思いました。(1)
- 審判持ちの生徒が勤務校にいる中、参考となるお話を聞かせていただきました。
- 今の様子(特に虐待について)を具体的に聞かせて頂き、参考になりました。児相を経験された教師ならではの見方、感じ方のお話であり、現在学校にいる子どもの顔を思い浮かべながら聞けました。まず、「命を守る」という強い言葉が深く響いてきました。
- いじめ、虐待、今日の教育現場での諸問題の中で、その対応についてはかなり神経を使うことです。子ども第一で対応することが一番と分かっているながらもなかなか動きづらいので、参考になりました。(2)
- いじめや児童虐待にかかわる法的なとらえや、関係機関との連携のあり方について具体的にお話しいただき、教頭としての役割を再確認できました。
- いじめの話と虐待の話を聴かせていただきました。現任校は、生徒指導の事例はあまりないですが、有意義なお話でした。「何人の方とつながっていますか」の質問には少々ドキッとしました。教頭という顔で外部の方とあまりつながっていないと感じました。名刺も作ろうと思いました。
- 後半の児相の話をもっと詳しく聞きたかったです。
- 具体的な事例をもとにした話で明日からの実践にすぐに生かせると感じました。(1)
- “いじめ”と“児童虐待”という、いつでも起こりうる2つの問題について認知、対応の具体的な方法の確認だけでなく、気づきリストの活用や他機関との連携等、具体的な動き方や大切なことを教えていただきとてもありがたかったです。教頭として学校が子どもを守るために、組織として問題解決や未然防止に努められるよう、フットワークを軽くしてネットワークを広げる必要性を感じました。
- 児童虐待のケースの話がとても印象に残りました。具体的な動き、流れや学校がどこで踏ん張らなければならないのか、明確で、理解しやすかったです。教頭としてのネットワークの話もまだまだ足りないところがあると反省させられました。ありがとう

ございました。(2)

- 重大事態の対応や児童虐待についての対応など具体的な話を聴くことができよかったです。(2)
- ありがとうございました。虐待のお話や非行生徒のお話は、永らく学年主任として担任、生徒指導として務めてきた私にとっては、今まで経験してきたことばかりでした。「非行生徒に関して記録をし、様々な機関と連携して育てていく。」それでおさまっていくのが一番です。その上で国児 少年院となってしまうのは、まず教育の敗北と考え、今日の前にいる子どもたちを育てようと以前先輩に言われました。私は何度もこの言葉を胸にやってきました。今一番悩んでいるのは、どうやったら学年を背負える、学校を背負える教員を育てられるかということです。自分が動くのは簡単で、動けば動くほど全てこちらに直ぐに相談がくるということです。
- 実際に目の前の子どもがそうあったとき、何ができて、何をするのか考えることができました。いじめ対応、虐待対応共に学校で対応を考え直すことができます。(1)
- いじめ防止、児童虐待防止ともに、子どもたちの命に関わる内容であったので、改めて学び直すことはとても大切だと感じました。有意義な時間となりました。学校としてできることをすべきことが改めてよくわかりました。
- 子どもたちをいじめから守るため、みんなが感性をみがく、子どもたちを虐待から守るため、保護者にしっかりとした姿勢でのぞむ。それだけに終わらず 保護者の内面もしっかりフォローしていく。これらを組織として行えるよう 信頼感、安心感のある職場づくりをしていきたいと思います。
児相での経験をふまえたお話が、具体的によくわかりました。現在何件か児相と連携をとっている事象があるので、今後の連携に役立つと思います。
- 今日的課題を明確に話していただきました。いじめを細かく定義し、子どもたちを守ることを大切にしていきたい。虐待に関しても、これから現実にも、そして確実に目の前にあらわれてくる。その時にどのように対処するかを考えていきたい。(1)
- 児童虐待について、様々な事例、子どもと会える場合、会えない場合のことについて教えていただき、今後職場の子どもの様子を見て、活用させていただきたい。以前の職場で通告をして、児童相談所の方に子どもを保護していただいたことがあります。保護者にかなり様々なことを言われましたが、職員全員でチームとして、子どものためにふんばったことを思い出しました。子どもたちの姿をしっかり見て、思いを受け止めながら、今後も教職員と共に指導していきたいです。
- いじめや虐待を見逃すことなく、子どもたちの命をしっかり見守りたいと思います。夏休み明けに登校した子ども一人ひとりもしっかり関わりたいと思います。
- 「いじめ」「虐待」でどう保護者と関わるかを学びました。今までの経験の中で「もしかして・・・」と思うこともありました。
- 「いじめ」「虐待」もこんなに身近な重大な事案と感じるような時代が来るとは、悲しい時代です。様々な現場でしっかりと子どものことを考え、子どもや親と関わってこられた経験豊富な秦先生のお話は、感動しました。今一度目の前の子どもや職場の先生方を思い浮かべ、自分のすべきことをしていかななくてはと反省しました。今日、参加できて本当によかったです。

- 虐待時の細かい対応等がよくわかりました。これは資料等見るだけではなかなかわからないので参考になりました。ありがとうございました。様々な経験に裏打ちされた話で勉強になりました。(5)
- いじめと虐待について、実際におこった時の対処等具体的に聞いて良かったです。いじめ認知に関しては学校での取組を改めて見直そうと思いました。
- 今後ますます重要になるいじめや虐待への対応について詳しくお話していただき、教頭の立場として中心となってそれぞれへの対応をしていく必要性を改めて感じました。もっと自分の力を高めるために学習しなければいけないと思いました。(1)
- 学校における複雑化、困難化に対し、講演会で学んだことを活かしていきたいです。(2)
- 働き方改革との両立をめざしていこうと思いました。
- 生徒指導、児童虐待等、子どもの命にかかわる事案も多く、大変重要なものと考えます。明日からの実践に活かしていきたいと思います。(1)
- いじめや虐待など今喫急の課題についてのお話でした。対応など参考になることがたくさんありました。どちらも子どもの命に関わる事なので、自校からそういう子どもが一人でも出ないようにしていきたいです。
- 何度となく秦様にはお世話になりました。あらためて、お話を聞かせていただき、当時のことがよみがえりました。真剣に子どもたちのことを考えておみえになり感動しました。ありがとうございました。
- 6日の試験を思い出しました。特に虐待についてもっと深く勉強し、子どもたちのために努めていきます。

後半の講演「そっとやさしく」について

- 絵本の内容が心に響きました。自分も表面的なことしか見ず、よくおこっていました。「あいつさえおらんだらな」と言っていたこともあり反省しました。
- 尾鷲出身の私にとってりょうがん先生のお話を聞くことができ、教育の原点を思い出し、大変幸せなひとときを過ごすことができました。
- りょうがんさんのお話を聞いて、思い出した子がいました。先生のお話ほどではありませんでした。見守りの必要な子でした。彼も2つ下の弟の面倒を見ながら学校へ来ていた子でした。私が転勤した後卒業したのですが、「立派な6年になったぼくを見てほしかった」と言っていたと聞き嬉しかったことをおぼえています。今、職場で仕事に悩む若い先生がいらっしゃいます。自分のできるよりそい方で、共に歩みたいと思いました。
- 歌声もすばらしかったですがトークもすばらしく、題材とおりはつとするようなやさしい言葉をかけてくださりありがとうございました。深い話に感銘をうけました。何度も何度も大切な愛について考えさせられました。笑いも混ぜてくださり、元気をいただきました。ありがとうございました。(4)
- 教頭として子どもも若い先生も決して一人にさせないよう 笑顔で2学期がんばろうと思いました。
- 今年教頭という立場になり、担任として子どもに接することができなくなりましたが、

今回は職員室で「少しでもみんなの先生になれるといいな。」と思いました。がんばらず、でも目の前の子どもにそっと声をかけたいと思いました。

- ありがとうございました。バタバタとすごしてきた4ヶ月をふりかえり、すこし、にっこり、すこしほっとできた一時間でした。わが子にもやさしくします。(2)
- 教師として人としてのあり方、原点を再確認させていただきました。明日からまた初心にかえってがんばろうと思いました。(2)
- 「一人にさせない」という言葉が響きました。今年から教頭になり、孤独を感じることもありますが、たくさんの先生方と話を交わすように心がけることで私自身も支えられている、また、「いつも教頭先生が見くれている。」と私をとて頼りにしていることがわかるようになってきました。今日の講演を聴いて、心の中にしみわたる話ばかりで涙が出てきました。
- あこがれの教師像を提示していただいたと思います。校内にあのような教師を育成していく必要があると思いました。
- とても良いお話です。先生の経験体験とてもすばらしいです。ホームページ楽しみにみていきます。
- 日々の忙しさにおわれ、少し忘れかけていたものを思い出させていただきました。とてもすばらしい時間でした。元気をもらいました。(1)
- 事務仕事ばかりに追われている日々でしたが、りょうがん先生の心温まる語りで教師の魂みたいな情熱を思い出しました。管理職になっても、人を大切に見守るといふ仕事の根本は同じなんだなと気づかされました。職員室や学校全体を明るくするような存在になりたい。前任校は四日市市立港中で教諭でしたが、りょうがん先生の伝説は残っていましたよ。本人にあえて良かったです。(10年位前) See you again は当時も卒業式で歌っていました！生で聴けて Happy です。この歌でたくさん泣きながら生徒が卒業していきました。
- 何度も涙を流しました。心がほっこりしました。同時にあたたかくありたいと思いました。とても良かったです。ありがとうございました。
- 教頭職につき、今までのギャップの中、忙しさ、大変さの中で過ごしてきていますが、今日は本当にいやしになりました。ありがとうございました。
- これまでに何度か聴かせていただいておりますが、いつも感動を届けていただいております。ありがとうございました。(5)
- 出会いが人をかえる。→出会いをつくってやる「一人じゃない」と思わさないようにする。心に響くお話でした。ありがとうございました。年を取ると涙腺がもろくなって・・・ちよとずるいわー
- おかげさまのお話、素敵な家族、素敵な社長さん、素敵な先生との出会い、支えてもらっている実感、誰かを支える喜び、いろいろなことを考えながら聞きました。私は幸せです。教頭の仕事をさせてもらっている幸せを、感じさせていただきました。出会いが人を変える。学校にもどって、先生方に伝えます。ありがとうございました。
- 優しい語り、素敵な音楽で心洗われる一時でした。教師であるということ、人であるために大切なこと、原点にもどれる機会となりました。毎日の忙しい中で、忘れかけそうになるとき、また思い出していきます。(ある先生の話は何度聞いても泣けてきま

す。)「一人にさせないために」職員室の担任としてできることを行動していきたいです。

○日頃、校務に追われ、孤独感を感じるが多かったですが、りょうがん先生の心温まる話、歌声、ピアノの音にとても癒やしていただきました。夏休みのいい思い出になりました。また頑張ろうという気持ちになりました。本当にありがとうございました。

(6)

○スタートのピアノと歌がとてもすてきでした。絵本の読み聞かせもよかったです。「一人にさせない。」の言葉が心に残りました。先生の姿を思い出し、とても感動しました。(先生の姿を忘れかけていました。)そこには子どもがいるのです。

○お名前だけをいつも聞くばかりで、一度お話聞きたいと思っていました。いい涙を流させてもらいました。ありがとうございました。自分の故郷の熊野弁が聞けてうれしかったです。

○りょうがん先生の話は何回聞いても勉強になりますし心に響きますが、小学校では来年から新学習指導要領が実施される中で、今この話なんでしょう。これがもう一つの今日的課題と考えていいのでしょうか。

○やはり教師っていいなあとすごく思いました。教頭としてやりがいを持っていける気がし、明日からまた楽しくやっていけそうです。自然に涙が出る 芯から心に染みる講演でした。ありがとうございました。やっぱり歌っていいですね。

○泣けました。子どもを見つめ、本当の願いをくみ取り支援した先生。先生の腕にとび込んだ彼を思うとまた泣けます。そんな人間の心の通い合いをこれからもたくさん作っていききたいと思いました。(2)

○とても楽しく、胸のあたりがぽつとあたたかくなりました。明日からもがんばれるように思います。ありがとうございました。(2)

○りょうがん先生の講演をやっと聴くことができました。今まで幾度かチャンスがありましたがその時になって生指が入ったり、出張と重なったりして聞けませんでした。教頭になってから音楽から離れていたの(音楽科です)先生の歌声、曲を聴きあらためて、明日からまた子どもたちのためにがんばろうと思いました。(1)

○りょうがん先生のあったかさ、ぬくもり、すごく感じました。ほっとさせられる時間でした。ありがとうございました。ひろしさんのことありがとうございます。楽しみです。

○一人になる先生をつくらんように教頭が一人にならないように、その通りだと思いました。心動かされました。あつという間の時間でした。(2)

○いい話をたくさん聞かせていただいた。教頭職となり、子どもと関わることも少なくなり、仕事での感動も減ってきたが、心に響く講演だった。

○子どもが「ふるさと」と思える学校づくり「かげ」におとさまをつけたら「おかげさま」私たちの仕事はやっぱり「出会い」があって、目の前の子ども、目の前の職員に精一杯関わっていくことが一番大切なんだと改めて感じました。なくなった父が生きていたころ「建築家は地図に残る仕事で、いいな」と言う私に父が「お前の仕事は人の心に残る仕事だよ。」と言われたのが今も私の支えです。そんな支えになれる管理職でありたいと思いました。(1)

○「おかげさま」の意味を何度も何度も考えました。よい時間でした。「おこだてません

ように」私も読み聞かせようと思います。人と人のつながりを大事に明日からまた頑張ります。(1)

- 本当に心に染み入る歌、語り・・・研修会に来てこんなに涙でボロボロになったのは初めてでした。明日からまたがんばろう、元気をたくさんいただきました。ありがとうございました。(5)
- 自分らしさをださせない要因それをなんとかすること、ずっとそう思って実践してきました。もう一度職員としゃべりたいと思います。
- 肩の力を抜かせてもらいました。(2)
- 何度もお話と歌を聞かせていただきましたが、やっぱり気持ちが安定します。そして力をもらいます。ありがとうございました。(5)
- 「ひとりにならない」「一人にさせない」という言葉、今までもたくさん聞いた言葉ですが、りょうがん先生の歌や紹介していただいた本やエッセー等から、この言葉の大切さを再確認できました。子どもも大人もそれぞれものを背負いながら生まれている。教師として一人ひとりとの出会いを大切にしてくだれもが笑顔で安心できる生活を作りあげていかなければならないと改めて思いました。
- 久しぶりに「りょうがん先生」の話が聞けました。「ちょっとだけ」を心がけて今後の学校運営にかかわっていきたい。
- おはなし、歌、詩、絵本、語りのすべてに心洗われました。自然に涙があふれてきた自分におどろきました。「つかれていたんやなー。」ありがとうございました。
- 元気になりました。エネルギーをもらいました。ありがとうございました。(2)
- 菰野時代、お世話になりました。「ほっと幸せな気持ちになりました。」妻もお会いしたいと言っていました。
- 働き方改革で忘れかけていた事を思い出させていただきました。
- 教師になろうと思った純粋なあの頃、教師になったあの喜び、子どもたちと出逢えた感動 すべての原点を思い出させてくれる素晴らしい講演でした。(1)
- ゆっくりした気持ちで聞けました。でも話をききながら涙が出てきたなせだろう やはり同じ思いがあるからか。
- 感動した話の中に心に刻むメッセージがあり心に残りました。現場の経験がある先生の生の声が聞けてよかったです。学んだことを職場の中でも伝え、行動に移していきたいと思います。(1)
- 心が洗われてとてもよかったです。何故に教師になったのかを再確認できました。また明日からがんばろうと思えました。有難うございました。(1)
- 長島先生のお話は、20年以上前に(県教委のころ)聞いたことがあり、久々にお目にかかりました。長島先生の人柄が本当に感じられいつも感動します。歌とトークが絶妙です。
- 毎日毎日いっぱい研修していっぱいいろんな人と関わり必死でやっていますが、今日は、あたたかい気持ちになりました。そして明日からまた頑張ろうと思いました。こういう研修がいいですね。
- 何度聞いてもいい話です。自分のことを見つめなおすきかいとなりました。教頭対象ということが分かっておられてとても聞きやすかったです。

- 教頭の立ち位置、職員室や学校の中での動き方、自分のことも、みんなのことももっと大切にしたいですね。(1)
- りょうがん先生のやさしい語り、いろいろ考えさせられました。「ある先生の話」で子どもの様子から、その背景にあるものをしっかり見つめ、子どもに寄り添って、粘り強く向き合っていく姿を、職場の悩んでいる若い教職員に話したいと思います。教頭としての仕事についても、考え方を少し変えていくことで、もっとがんばれるような気がします。気負わず、職場の教職員と共にならばります。一人じゃない、ということも伝え続けていきたい。(1)
- りょうがん先生のお話は人柄が伺われる、楽しいお話でした。(はじめは)りょうがん先生から本当にあったかいメッセージをいただきました。教師になったこと改めてよかったですと感じました。またりょうがん先生のお話がききたいです。すてきな歌あったかい声で励ましを頂きました。
- いろんなことがあります、子ども大切に、大人大切に、近くの人大切にすることが原点と思いました。
- あつという間の時間でした。子どもの夢、成長を願うという教師の初心に立ち返ることができました。ありがとうございました。(1)
- 長島先生のお話は何度目かになりますが、今年初めて教頭という立場で聞かせていただき、感じるどころが多くありました。心がほっこりするとともに、子どものために自分にできることは何だろうか考えることができました。また是非お話を聞かせていただきたいです。
- 心を洗われるお話をお聞きできてよかったです。やはり教頭は職員室の担任として、温かい職場づくりもう一度考えてやりたいと思います。(1)
- 何度もお話をきかせていただきましたが何回聴いても元気になります。ありがとうございました。今日は感動しました。教師になった頃を思い出しました。新採が3人います。彼女たちの夢を支えていきたいと思いました。(2)
- 明日からの元気につながるよい話が聞けて良かったです。・いつ聞いても、心温まるお話と歌。癒やされました。(6)
- 「おこだてませんように」も絵本もりょうがんさんのソフトな声で改めて読み聞かせてもらうと心にしみました。ある意味、お話をきいて教諭に戻り、担任したくなりました。
- 多忙の中「なぜ教師になったの・・・？」今日のつぶやきをどこかで、先生たちに伝えたいと思います。2学期からまた、仲間を広げてがんばっていきたく思います。いごちのいい職場にしたいと思います。
- 教頭先生こそ豊かな心を持ってほしいと言われ、今後がんばろうと思いました。ユーモアのある話し方で笑いもありとても楽しく話を聞かせてもらいました。経験談をたくさん話していただき、どの話も聞き入ってしまいました。歌声もやさしく、とても充実した時間を過ごさせていただきました。とてもよかったです。またお話をきかせていただきたいと思いました。(3)